

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局地域医療課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	北九州市立門司病院	施設類型	目的・機能
	所在地	門司区南本町3番1号	I	— ⑦
	設置目的	市民の健康保持に必要な医療を提供する。 「北九州市病院事業の設置等に関する条例 第1条」		
利用料金制	非利用料金制 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名称	医療法人茜会		
	所在地	山口県下関市上新地町一丁目5番2号		
指定管理業務の内容	1 診療等に関する業務 入院診療、外来診療等の門司病院が提供する医療及び医療関連行為並びに関係事務 2 施設の管理に関する業務 ① 施設及び設備の維持管理業務 ② 物品（医療用機器、什器備品類等）の管理業務 3 手数料の徴収に関する業務 証明書料等の手数料の徴収 4 その他管理運営に関する業務 ① 災害時の対応及び市民の健康危機への対応 ② 新型インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症及びその他新感染症発生時の対応 他			
指定期間	平成31年4月1日～令和11年3月31日			

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント				
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				
(1) 施設の設置目的の達成				
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。				
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。				
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
【所見】				
【患者数等】 (単位：人、%)				
項目		R4年度	R5年度	対前年度比
外来延患者数	目標	31,132	30,973	
	実績	31,147	29,504	94.7%
	達成率	100.0%	95.3%	
入院延患者数	目標	41,276	41,374	
	実績	41,181	40,539	98.4%
	達成率	99.8%	98.0%	
病床利用率	目標	73.0%	72.9%	
	実績	72.8%	71.5%	1.3ポイント減
	達成率	0.2ポイント減	1.4ポイント減	
【評価】				
<p>《外来》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携室を中心として、地域の医療・福祉機関等との連携を図っているが、延患者数は令和4年度実績を下回っており、新型コロナウイルス感染症の影響が継続していると考えられる。 <p>《入院》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延患者数・病床利用率について、令和5年7～8月に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した影響により、地域包括ケア病床・回復期リハ病床が前年度比減少となった結果、全体の入院延患者数は、前年度及び目標からマイナスとなった。 ・なお、政策医療である市内唯一の結核病棟については、病床利用率が31.5%（前年度比0.3ポイント増）となっている。近年は結核病床の病床利用率は減少傾向にあるが、これは、医薬品の進化、結核病床におけるリハビリの強化やMSW(※)の介入により、結核病床での入院日数が短縮傾向にあるためである。 				
<p>※MSW (Medical Social Worker 医療ソーシャルワーカー) …患者やその家族のさまざまな相談に乗り、問題の解決を図るために医療機関等との調整や連携を行う。</p>				

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

[所 見]

【アンケート結果】

単位：％

		回収数	総合評価	接遇	診療説明	待ち時間
外来	R4年度	287	88.3/1.0	99.6/0.4	99.4/0.6	92.8/7.2
	R5年度	399	98.1/1.9	99.1/0.9	98.1/1.9	93.5/6.5
入院	R4年度	78	62.6/5.1	97.0/3.0	86.5/13.5	- / -
	R5年度	128	90.6/9.4	96.4/3.6	89.4/10.6	- / -

※（非常に満足、満足）／（不満、非常に不満）

・R4年度の総合評価はアンケート回答項目に「どちらともいえない」があるため、上記合計が100%とにならない。

【取組み】

- ・接遇に関してマニュアルを作成し、職員へ周知している。
- ・患者やその家族の目に触れやすいところに「ご意見箱」を設置し、積極的に患者等の意見を収集。回答を院内に掲示し患者等と良好なコミュニケーションを図り、迅速に医療に反映できるよう努めている。
- ・患者相談窓口と相談担当者の専任により、相談や苦情等について早期収集と解決に努めている。
- ・インフォームドコンセントについて、法令順守に基づいたマニュアルを整備し、全ての患者及び家族に対して実施している。

【評価】

- ・各項目（接遇・診療説明・待ち時間）を通して、「非常に満足＋満足」の割合は高水準となっており、「不満＋非常に不満」の割合は低水準で推移している。
- ・総合評価においては、令和5年度の調査から『どちらとも言えない』の選択肢をなくしたため、「非常に満足＋満足」及び『不満＋非常に不満』のいずれも前年度より増加しているが、「非常に満足＋満足」の割合が90%を超える高水準となっており、効果的な取組みがなされていることがうかがえる。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

【費用】

単位：千円

	年度	目標	実績	対目標増減	対目標増減率
医業費用	R4年度	1,936,527	1,989,372	52,845	2.7%
	R5年度	1,961,576	2,028,937	67,361	3.4%
	前年度比		102.0%		
(うち委託費)	R4年度	181,233	179,274	▲ 1,959	-1.1%
	R5年度	186,339	192,999	6,660	3.6%
	前年度比		107.7%		

【評価】

- ・光熱水費削減に向けた職員への啓発や、委託内容・項目の見直しなどに継続的に取り組んでいるものの、令和5年度の医業費用が前年度比増となっている、これは、人件費の増加による委託費の増加や物価高の影響によるものと考えられる。

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【収入】

単位：千円

	年度	目標	実績	対目標増減	対目標増減率
入院収入	R4年度	1,409,891	1,459,048	49,157	3.5%
	R5年度	1,419,895	1,433,763	13,868	1.0%
	前年度比		98.3%		
外来収入	R4年度	238,368	241,898	3,530	1.5%
	R5年度	239,415	225,629	▲ 13,786	-5.8%
	前年度比		93.3%		

【評価】

- ・入院収入については、前年度から減少したものの、目標は達成している。
- ・外来収入については、地域との連携強化に向けた取組みにより紹介率の向上が見られたものの、延患者数が前年度から減少したため、減収となっている。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

【所見】

【人員配置状況】（主な職、常勤換算、実績は令和6年3月31日時点）

医師：15名、看護師：67名、准看護師：7名、ケアキャスト（介護福祉士等）29名、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床心理士：62名

【研修参加状況】

院内研修：46回、延参加人数：1,836人

院外研修：一回、延参加人数：一人

（院外研修は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため自粛）

【地域住民向け講座開催等】

- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として中止

参考：過去の実施内容

健康セミナー、出張講座、まちの保健室ボランティア、地域交流会、北九州マラソンへ看護師派遣

【地元医療機関との連携】

- ・地域医療連携室を中心として地域の医療・福祉機関等への訪問活動などに取り組み、情報の共有化や紹介患者・逆紹介患者の増加に努めている。

【看護実習生の受け入れ】

看護実習生を受け入れ、専門職の養成に寄与している。

- ・令和5年度看護実習生受入れ状況

4校 59名

【評価】

- ・医療スタッフの確保に努め、医療提供体制を維持する人員を確保している。
- ・積極的な研修活動が行われており、職員の能力向上に努めている。
- ・地域住民向け講座等は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策により開催に至らなかったものの、地域に開かれ親しまれる病院運営に努めるため、継続実施の方向である。
- ・地域医療連携室を中心として地域の医療・福祉機関等への訪問活動などに取り組み、地域との連携強化、情報の共有化、紹介患者・逆紹介患者の増加に努めているが、新型コロナウイルス感染症防止対策の一環として訪問活動を縮小しており、令和5年度の紹介率は24.8%となった。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

【所見】

【平等利用、安全対策、危機管理に向けた院内の体制】

- ・「個人情報の保護に関する法律」等の関係規定に基づき、個人情報保護規定を設け、これに基づき管理体制を構築している。
- ・医療ソーシャルワーカー（MSW）を配置し、入院時・退院時等において利用者が平等にサービスの提供を受けられるよう努めている。
- ・医療安全管理委員会や院内感染対策委員会など、医療安全関連の各委員会を定期的（月1回）に開催し、情報共有を図っている。
- ・医療安全管理室を中心に、アクシデント・インシデントレポートの分析、医療事故発生時のマニュアルの整備、職員への周知徹底を行っている。

【評価】

- ・連絡体制や再発防止策など医療事故等の発生に備えた体制づくりが図られている。
- ・火災発生等緊急事態に備えたマニュアル整備や院内体制づくりが図られている。

【総合評価】

【所見】

- ・北九州地域唯一の結核医療の拠点病院として、機能している。
- ・門司区唯一の回復期リハビリテーション病棟を運営し、リハビリ体制の強化に取り組んでいる。
- ・地域医療連携室による地域の医療機関や介護施設等への訪問により、地域との連携の強化及び紹介率の増加に向け取り組んでいる。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により延患者数及び収入は減少しているが、アンケート結果より利用者の満足度は高く、各取組みにより地域の拠点病院としての責務を果たすべく努めていることがうかがわれる。

【今後の対応】

- ・引き続き、市と指定管理者が協同し、よりよい市民サービスの提供を図りながら、政策医療である結核医療を中心に地域に必要な医療を提供していくことが望まれる。